

## 令和7年度 関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会 活動推進員等研修会

令和7年7月31日 / 横浜市開港記念会館

酷暑の中、関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会の活動推進員、区老（シ）連会長・副会長及び市老連女性委員を対象に、総勢98人が一堂に会し、「つながり」「地域支え合い」をテーマに研修会を開催しました。

横浜市老人クラブ連合会奥田能史理事長から、「単身世帯の増加や働き方の多様ななどにより、家庭や地域、社会などの「つながり」が薄くなり、誰もが孤独・孤立状態に陥りやすい状況になっています。2024年4月に孤独・孤立対策推進法が施行され、孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さないために、老人



奥田理事長

クラブのお互いの「支え合い」がより一層重要となっており、「す」との、あいさつがありました。

### 第1部

## つながりサポーター養成講座

講師・特定非営利活動法人新公益連盟

井澤 徹氏



井澤 徹氏

### つながりサポーターとは

なにか「特別なことをする人」「しなければならぬ人」ではなく、孤独・孤立の問題について知識を身につけ、身の回りの人に関心をもち、できる範囲で困っている人をサポートする人を言います。

### 孤独・孤立とは

「孤独・孤立」の何が問題なのか。「一人でいること」自体が、問題ではありません。悩みや困りごとが生じた際に一人で抱え込んでしまうことがあります。はじめは小さな悩みや困りごとであったものが、一人で抱えこんでしまうことで複雑化・深刻化することになります。

### 日常にある「つながり」

孤独・孤立状態におちいらないために、「気の合う人がいる」「一緒に熱中できる友人がいる」「専門家でなくてもできることがたくさんあること」を知ってほしいと思います。「相互に支え合い、人と人との「つながり」が生まれる社会」を目指していますが、まさに老人クラブが実践している社会になります。

### 孤独を感じている人は、どのくらいいるのか？

令和6年度に孤独・孤立の実態把握に関する全国調査「人々のつながりに関する基礎調査（内閣府 孤独・孤立対策推進室）」が行われました。その結果からわかることは、孤独を感じていると答えた人が約4割もいて、相談相手がいないと孤独感を抱える割合が高いというものでした。そして、約7割の人が、「相談することで、解決しなくても気持ちよくなる」と答え

ています。

困りごとを抱えた人に出会ったときどうする

支援の受け方がわからなかったり、必要でないと考えているために、支援を受けていない孤独・孤立状態の人がいます。

私たちの住んでいる地域にはいろいろな相談窓口があります。

神奈川県内の相談窓口や支援制度などは、「さぼなびかながわ」で検索できます。また、神奈川県では、かながわつながりネットワーク（県版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム）を令和6年に立ち上げ、民間団体等との連携・協働による孤独・孤立対策の取り組みを進めています。

### 多くの方に孤独・孤立の問題を理解してもらうことで

誰もが困ったときに気軽に声を上げられる・かけられる社会、相互に支え合い、人と人との「つながり」が生まれる社会に近づいていきたいと考えています。